

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	読解(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	福 嶋 香 理	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 7月の第1回日本語能力試験合格を目標に、必要なストラテジーを身につける。授業では精読・速読両方を取り入れ、説明文、論説文、エッセイ、小説のほか、グラフ・表、広告、手紙など、様々なタイプの文字情報を扱う。キーワード、指示語、主語の省略、接続詞等のポイントを押さえながら、正しい選択肢が選べるだけでなく、様々な文章の内容を読み取ることができるよう、進学後も見据え、必要な力をつける。辞書なしで、推測しながら読み進める力も習得する。						
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験:70% 2. 課題提出:10% 3. チェックテスト:10% 4. 授業態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 「新完全マスター読解 N3」「新完全マスター読解 N2」「日本語総まとめ N3読解」「日本語総まとめ N2読解」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N2読解」他 から適宜抜粋。						
《授業外における学習方法》 毎回授業内で行う小テスト(授業内容の確認となるレベル)の見直し・復習と、宿題(主に予習)を課す。						
《履修に当たっての留意点》 毎回宿題を課し、授業では答え合わせのほか、問い以外の部分の内容の確認も併せて行い、解説をしていく。能力試験に備え、初見の文章を指定時間内に読む練習も行う。最終的には選択肢に頼らず、文章全体の内容を把握し、理解したことを自分なりにまとめて述べられることを目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(1) 実力チェック、基礎力をつける①	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	どんなストラテジーが必要かを見る。書き言葉に慣れる			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(2) 基礎力をつける②	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	読むスピードを上げる 全体をつかむ、知らない言葉を推測する、内容を予測する 他			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(3) 基礎力をつける③	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	読むスピードを上げる 指示語を意識する、文章の構造を理解する、筆者の気持ちを理解する 他			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(4) 文章の仕組みが理解できる①	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章全体の意味を捉える 対比文			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(5) 文章の仕組みが理解できる②	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章全体の意味を捉える 言い換え、比喩			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(6) 文章の仕組みが理解できる③	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章全体の意味を捉える 疑問提示文、主張表現		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(7) 質問に答える技術を身につける①	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章の細かい部分を正確に読み取る① 指示語を問う		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(8) 質問に答える技術を身につけられる②	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章の細かい部分を正確に読み取る② 「だれが」「何が」「何を」などを問う、下線部の意味を問う		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(9) 質問に答える技術を身につけられる③	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章の細かい部分を正確に読み取る③ 理由を問う、例を問う		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(10) 情報を探し出すことができる① 広告、お知らせ、説明書きなどを比較統合しながら理解できる	使用教材から適宜抜粋	小テスト、統合理解の復習
		各コマにおける授業予定	手紙、ビジネスレター、張り紙など 実戦問題① 統合理解		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(11) 試験形式に慣れる	使用教材から適宜抜粋	指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	能力試験形式の模擬テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(12) 情報を探し出すことができる② 700字程度の情報素材の中から必要な情報を探せる	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	広告 実戦問題② 情報検索		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(13) 情報を探し出すことができる③ 500字程度の中文の問いに答える	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	お知らせ 実戦問題③ 内容理解(中文)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(14) 情報を探し出すことができる④ 900字程度の長文を読み筆者の主張について答える	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習、指定範囲の予習
		各コマにおける授業予定	説明書 実戦問題④ 主張理解(長文)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(15) 情報を探し出すことができる⑤ 既習の能力試験形式の復習	使用教材から適宜抜粋	小テストの復習
		各コマにおける授業予定	表・リスト 実戦問題⑤ 統合理解、主張理解(長文)、情報検索等		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	読解(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	福 嶋 香 理	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 7月の第1回日本語能力試験合格を目標に、必要なストラテジーを身につける。授業では精読・速読両方を取り入れ、説明文、論説文、エッセイ、小説のほか、グラフ・表、広告、手紙など、様々なタイプの文字情報を扱う。キーワード、指示語、主語の省略、接続詞等のポイントを押さえながら、正しい選択肢が選べるだけでなく、様々な文章の内容を読み取ることができるよう、進学後も見据え、必要な力をつける。辞書なしで、推測しながら読み進める力も習得する。						
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験:70% 2. 課題提出:10% 3. チェックテスト:10% 4. 授業態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 「新完全マスター読解 N3」「新完全マスター読解 N2」「日本語総まとめ N3読解」「日本語総まとめ N2読解」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N2読解」他 から適宜抜粋。						
《授業外における学習方法》 毎回授業内で行う小テスト(授業内容の確認となるレベル)の見直し・復習と、宿題(主に予習)を課す。						
《履修に当たっての留意点》 毎回宿題を課し、授業では答え合わせのほか、問い以外の部分の内容の確認も併せて行い、解説をしていく。能力試験に備え、初見の文章を指定時間内に読む練習も行う。最終的には選択肢に頼らず、文章全体の内容を把握し、理解したことを自分なりにまとめて述べられることを目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(16)	使用教材から適宜抜粋	課題、復習	
		各コマにおける授業予定	表や掲示物、こ・そ・あの問題について			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(17)	使用教材から適宜抜粋	課題、復習	
		各コマにおける授業予定	キーワード問題について			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(18)	使用教材から適宜抜粋	課題、復習	
		各コマにおける授業予定	筆者の主張や考えについて			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(19)	使用教材から適宜抜粋	課題、復習	
		各コマにおける授業予定	接続表現・文章の並べ方について			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	中上級(20)			
		各コマにおける授業予定	総復習(能力試験、留学試験問題など)			